

『子供のプログラミング的思考と情報活用能力学習の支援活動』（予定）
（プログラミングの学習会）

NPO 法人 神戸ロボットクラブ

1 事業が目指すところ

2020年、学校教育にプログラミング教育の導入が始まり、小中学生にパソコン、またはタブレットを一人一台の支給している。しかし、すべての子供たちが容易に使いこなせるとは限らないし、反対にもっと進んだ教育を受けたいが、その教育機関が少なく、費用の面でも教育を受入れられない等の問題が発生している。当協会はそのような子供達に費用面、人的にも一人一人寄り添う教育を行うために、学習会を開き、少しでも置き去りや、興味のなくす子供たちをなくし、より理工学に興味を抱くようにしたい。またシニアに対するパソコン学習の一環、居場所づくり。

2 活動内容

神戸を中心に、西宮等でプログラミング学習会、ドローンや小型ロボットをプログラムで操作し、より実感のわく学習会を続けておこなってます。



8月体育館でのドローン学習 11月の固定学習所での学習会

3 成果や課題点

子供たちは、プログラミングが良くわかり、学習意欲も出てきている、さらに学習会が楽しかったも加えてた内容をおこなってます。名前が徐々に知れ渡って学習者も増えているが、固定的な学習所がなく、リピーターの定着とはいかなかったですが、今年度からは、思い切って固定的な場所をキープしていく方向で取り組み徐々にリピータも増えつつあります。ただし、パソコンやタブレットは学校の物は使用できないため、当協会ですべて取り揃えているため、各機材の設定を都度おこなわなくてはならず、また、旧式の物で、大きく重たいものが多いため、支障をきたしている。

4 今後の展望、成果の活用

神戸市内の小中学校にも授業の一環としておこなうようになり、当協会の信頼感が増したのか、中学校にても出前授業も行いました。今後公共での学習会を行うことが増え、神戸市の来年よりの『コベカツクラブ』の参加も申し込んでいる。固定的な学習場所の継続、必要機材の充実、講師陣の増員も見込まれるようになり、子供達に対する配慮も深めることにもなり、放課後の学童保護の一翼にもなっていけると思うし、すでにその要請も来ている。一方、シニアの受講生が増え、シニアの生きがい活動にも貢献できる。固定的な場所での『デジタルひろば』の開設も視野に入れたい。

以上